

小須戸公民館報

町館 須戸公民館
発行所 小須戸公民館
発行人 岡謙吾
発行日 毎月15日

新潟県青年リーダー養成 海外研修参加記

～オーストラリアの人たちは陽気で明るいぞ～

本町2 村 井 豊



村井さんは一番左端。青年派遣事業は30才までの人が対象。他の市町村は参加する人を選出する青年団などの団体があるが、当町にはない。この課題も克服する必要がある。

新潟県では、毎年「青年リーダー養成海外研修」事業を行っています。新潟県の青年を海外へ派遣し、訪問国との交歓、研修を通じて、国際的視野を広めると共に有能な青年リーダーの育成、青少年地域活動の促進を図る事を目的としています。

初めての体験

ホームステイ

私は、新潟県青年リーダー養成海外研修に応募し、九月六日から十七日までの十二日間、オーストラリア班に参加する機会を得ました。訪問した都市は、シドニー、アデレード、カンガルー島の三ヶ所です。特にアデレード滞在中に二泊三日のホームステイが私にとってとてもよい経験になりました。

ホームステイで私がお世話になった家庭は、お父さん、お母さんは共働きでお子さんは十五才、十二才、八才の三人でごく一般的な家庭でした。この家庭では、日本語が一切通じないの

家族の人たちと

過ごして思う

オーストラリアでは、学校も職場も完全週休二日制で土・日は休みです。商店も日曜日はほとんど休みです。そのせいか、オーストラリアの家庭では、土曜の午前中にスーパーや市場に買い物にでかけます。そして、一週間分の食料を一気に買い、冷蔵庫に保存しておくのが一般的だそうです。

日曜の朝は近所のみんなが教会に集まります。そして、子供も大人も一緒に歌を歌ったり、礼拝をしたり、子供達を年齢別に分けて遊ばせたりして近所の人たちとの触れ合いを持っています。

このホームステイで特に嬉しかった事は、私を家族の一員と

ちょこっと一言 (43)

十年ほど前から短歌に親しんでいます。諸先生や先輩の皆さんの作品を味わっていると、ちょうど一編の詩や随筆を読むようで、大変興味深いものがあります。悲しみの歌は作りやすく、人の心を引くようですが、私は、明るい歌が好きです。明るい歌は、読んでくれる人に夢や希望



新保三三 渡辺正一郎 さん

を与えてくれますが、悲しみの歌は、悲しみがつのることが多いようです。四季おりおりの農作業や、生活を通しての短歌づくりは、楽しく、自分自身にも夢を与えてくれます。また、私の短歌を読んでくださる人に、少しでも明るく、希望のもてる歌をつくりたいと望んでいる昨今です。



ホームステイ先の家族と

最後に、今回の研修に参加するにあたって、多くの方々にお世話になり参加できた事を紙面をお借りし、お礼申し上げます。

村井 豊 記

です。コミュニケーションを図るにはひと苦労でした。知っている英語とジェスチャーと辞書を片手に何とか言いたい事を相手に理解してもらいました。しかし、実際に通じていたかどうかわかりません。逆に相手から生の英語を話しかけられると、耳が慣れていないせいと自分の語学力のなさなどで、さっぱり理解できませんでした。顔の表情や雰囲気などで、たぶん、こんなことを言っているのだろうと、わかった様な気分になって何とか会話をすることができました。

すばらしい財産を手に入れました。オーストラリア国民はとても陽気で明るく、親切な人ばかりでした。私もこの国民性に少しでも近づけるように努力したいと思っています。小須戸町のみならず、今以上に陽気な性格になれば「活き活き」とした町を作る事ができるのではないのでしょうか。私自身、参加した事により、新潟県の各地域の人たちとも友達になれたし、また、観光旅行では味わう事のできない事を生で体験できた事が、自分のすばらしい財産になったと思っています。是非これからも多くのの方々に参加して頂きたいと

思います。最後に、今回の研修に参加するにあたって、多くの方々にお世話になり参加できた事を紙面をお借りし、お礼申し上げます。

九月二十九日、台風が過ぎ去った後、絶好の秋晴れのこの日第三十九回山の手町民大運動会が開催された。久しぶりに取材に行っただけでも、人が大勢いてびっくりに「何百人いるんだ？」と盛り上がりもすこい。特に鎌倉と天ヶ沢。小学生の女の子が青のボンボンを振るのを、太鼓を鳴らすのでにぎやかである。最後の年代別リレーなんかみんなの絶叫で放送の音が聞こえない程。大変盛り上がり、見学に行った私も楽しい運動会だった。

裏方の皆さん大変ご苦労様でした。すげえかったね。

第四十五回新潟県知事杯を制す。我が町で唯一、全日本軟式野球連盟に所属している野球クラブチームの小須戸クラブが、八月から始まった第四十五回新潟県知事杯軟式野球大会で見事優勝しました。県大会は九月二十二日、十日町市営球場で、各アロックスを勝ち抜いた四チームで行われました。

準決勝結果表

準決勝	小須戸(下越)	70002	9	(5回)
	日石化工(上越)	10000	1	コールド
決勝	小須戸	030300011	8	
	オール第四(新潟)	300100000	4	

第九月十五日は、うでこぎ北山神社の祭りである。十四日の夜みやになると、うでこぎ地区ではここ数年、青年有志(藤井石博代表)によるカラオケ大会をやっている。「何か楽しめる催し物をやろう」と企画。飲み放題、食べ放題のカラオケ大会には地区の人たちが百五十人位集まり、大変にぎやかである。

- 歌った人にはプレゼントを用意する。おかげで一日で五十人以上が歌いまくる。地区の人たちの交流の場になっているカラオケ大会はともよいと思う。
- 優勝 入倉芳男 (白球会)
 - 優勝 菊部和義 (白球会)
 - 準優勝 吉田正信 (テニス愛好会)
 - 三位 須藤信子 (白球会)
 - 優勝 高橋浩和 (白球会)
 - 三位 石黒和則 (白球会)
 - 優勝 和泉桂子 (白球会)
 - 準優勝 須藤信子 (白球会)
 - 三位 青木悦子 (新栄町一)
 - 三位 中野裕子 (本町三)
 - 三位 山田美加 (白球会)
 - 三位 大竹美香 (白球会)



若い人がたくさんだと活気があってよい

うでこぎのカラオケ大会には五十人も飛び入りで歌うのだ。九月十五日は、うでこぎ北山神社の祭りである。十四日の夜みやになると、うでこぎ地区ではここ数年、青年有志(藤井石博代表)によるカラオケ大会をやっている。「何か楽しめる催し物をやろう」と企画。飲み放題、食べ放題のカラオケ大会には地区の人たちが百五十人位集まり、大変にぎやかである。

読んでつくする豆知識

サラダ油でおいしくご飯

ご飯を炊く前にひとつまみの塩とサラダ油を加えるとふっくらピカピカのご飯になる。古米もおいしくなる。

各種大会の結果

- 第九回野球連盟会長旗大会 優勝 クイーン
- 準優勝 金山ビギナーズ
- 第十八回町民野球大会 優勝 TAKEI
- 準優勝 金山ビギナーズ
- 三位 文京町サニー
- 第五十九回町民射撃大会 優勝 鶴巻信衛(新栄町三)
- 準優勝 加藤朝男(本町四)
- 三位 加藤敏男(蔵町一)
- 大物賞 五十嵐明(若葉町一)
- 第三回町民硬式テニス大会 (男子シングルス) 優勝 吉田正信(テニス愛好会)
- 準優勝 渡辺安規(本町三)
- 三位 鈴木正貴(本町五)
- 優勝 和泉桂子(白球会)
- 準優勝 熊谷十三子(テニス愛好会)
- 三位 須藤信子(白球会)
- 優勝 入倉芳男(白球会)
- 優勝 菊部和義(白球会)
- 準優勝 吉田正信(テニス愛好会)
- 三位 須藤信子(白球会)
- 優勝 高橋浩和(白球会)
- 三位 石黒和則(白球会)
- 優勝 和泉桂子(白球会)
- 準優勝 須藤信子(白球会)
- 三位 青木悦子(新栄町一)
- 三位 中野裕子(本町三)
- 三位 山田美加(白球会)
- 三位 大竹美香(白球会)

文化の祭りがやってくる

第十七回町民展

11月 2・3・4日 (土・日・祝)

お待たせいたしました

今年も中央公民館・文化協会では文化の祭りにふさわしい催し物を行います。特に今年は、文芸展の展示作品を一般からも広く募集します。又、日頃の公民館活動の紹介、受講者の力作を展示します。

文化講演会は、講師に童話作家 三階 二階 一階

あなたの作品 待っています

第十七回町民展作品 申込マ切 十月二十五日(金) 詳細は公民館へ

第五回こすどつ子写真展

大好評で今年もやります。テーマ「笑顔・泣き顔・怒り顔」ネガフィルムを添えて申込み下さい。素適な作品には賞品、記念品を差し上げます。 申込マ切 十月十九日(土)

文芸展 一般作品募集

俳句部門 短冊(6cm×36cm) 短歌部門 短冊(7.5cm×36cm) 川柳部門 色紙 詩部門 色紙または便箋一枚 申込マ切 十月二十五日(金)

第17回 町民展
会期 11月2日(土)～4日(月祝)
日本画・洋画・工芸・書道・写真
※拓本実演指導 3日 午後1時～4時

公民館 活動展 各種教室 作品展
税金展 生花展 (2日・3日) お茶会 (4日) 10時～15時
第5回 こすどつ子 写真展

第9回町民大会 俳句大会 文芸展(俳句・短歌・川柳・詩)
婦人会 不要品交換 パズル (3日)
喫茶サークル あおぞら (3・4日)
小須戸町野球チーム 紹介写真展

第八回文化講演会

童話作家

杉みき子先生来町

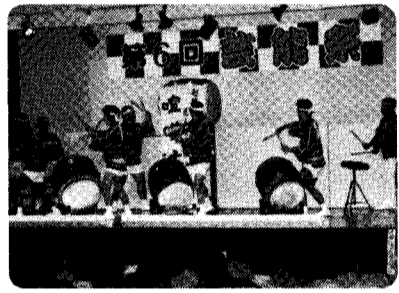
期日 十一月十日(日)
午後一時三十分から三時三十分
会場 中央公民館三階ホール
お話し「読むこと、書くこと 育てること」



略歴 昭和5年生まれ。
著作品「小さな雪の町の物語」「カラスのいる郵便局」 外多数

会場/中央公民館3階ホール

参加団体(順不同) 民謡節歌会・鎌倉民謡同好会・若葉会・矢代田民謡友好会・矢代田民謡研究会・民謡保存会・楽結会・民謡教室・寿之会・扇部楽会・寿美都楽会・民謡愛好会・吾寿万会・成美会・カラオケクラブ・詩吟研究会・龍吟会・コールあじさい・尺八竹和会・琴松会(町班・矢代田班)・琴麗会・琴新会・琴結会・囃囃大鼓保存会



11月24日(日) 午前10時30分開演

第七回芸能祭

二十四団体参加

新会員募集
申込は中央公民館 三八―二三三四へ

生花入門教室
若い女の子が多いけど、みんな楽しんでやりました。初心者大歓迎です。
活動日 毎月第一、三水曜日 午後七時から九時まで
会場 中央公民館二階学習室
会費 月四千元(花代込み)
◆大正琴教室
あなたも哀調の大正琴を弾いてみませんか。
活動日 毎月第一、三、五、日 午後七時から九時三十分
会場 矢代田公会堂

催し物案内
第36回 小須戸町剣道大会
期日 十一月三日(日)
午前九時開会
会場 柔道 小須戸小体育館 剣道 町民体育館
主催 教育委員会・柔道道振興会

菊花展
期日 十一月二日から七日(木)まで
会場 小須戸町諏訪神社境内
主催 小須戸町園芸クラブ外 ふうろう講座
「手品を楽しんで下さい」
手品師多数出演お待ちしております。
期日 十一月八日(金)
午後七時三十分から九時
会場 中央公民館二階学習室
お話し 岡田良平さん(文京町二丁目)
分館催し物案内

矢代田分館
矢代田分館文化祭
期日 十月二十七日(日)
午前九時から午後三時
会場 矢代田小学校

新保分館
新保分館文化祭
期日 十一月三日・三日(土・日)
午前八時から
会場 新保研修センター

小須戸分館
婦人のつどい
「身近にある」
「覚せい剤・シンナー」
期日 十月二十五日(金)
午後七時三十分から九時
会場 中央公民館二階
お話し 榮森靖生さん(新町二丁目)
球技大会
期日 十一月十七日(日)
午前九時三十分から
会場 町民体育館

横水分館
球技大会
期日 十一月十七日(日)
午前九時三十分から
会場 町民体育館



9月29日 小須戸保育園運動会。うさぎさん競争でにんじんもって走れ走れ。



9月19日 矢代田分館婦人学級。BS Nミュージックポストと日報を見学。



(現在)



(昭和初期)

大川前の土堤 場所 大川前2

大川前は昔、信濃川を往来する船の船着き場として栄えた。多くの物資が小須戸を基点に五泉、横越、新津などへ集散していた。昭和16年の小須戸の大火により、右側写真に写っている村祐製材所が焼けて矢代田に移転したせいで昔の面影はあまり残さない。

こすどまちまちな昔写真展(6)

俳句教室作品

満天の星に預けて梅千せり
立食ひの試食西瓜に賑はへり
診察の待つ間のはなし風仙花
風鈴や風吹くままに音かはり
尋ねればのうせんかすらの花の家
老鶯が迎へてくれし山の寺

荒木愛子
藤井レイ
村木りつ
花沢いせ子
吉田美樹子
渡辺信子

九月例会作品
小須戸町俳句同好会

連れ立ちて足どり軽き朝の秋
教材のいんげん摘みて朝餉とす
雨あがるしろがねいろに祭くる
まだ母に注意せられし慕かな
目の前を青嶺がふさぐバスの旅
夏の月追越せぬ影離れぬ影
師へ捧ぐ平詩切々別れ梅雨
蟻地獄見ていて喉の乾きけり
大空に雲の道あり波来草
豊穣の田の湿りおり天炎ゆる
つきつきに雲湧く遠嶺早生稲熟る
夏つばめ駅の時計を見て返す

吉田ミナ
佐久間久子
内山越楼
五十嵐香月
名古屋蒼穹
小林富沙子
間野良遊
間島秀穂
吉田素糸
中野太浪
田中美根子
丸山虚秋

短歌クラブ作品

もうすぐと小走りにして一つ傘孫を送れば
雨また来し
長井武雄

真白なる雪見て孫はおうと遠ばえの如く
声はり上げる
河内ヒロ

秋雨に傘かたむけて小走りにすれかう女の香
にふりかえる
村山 睦

歯の治療受けて舗道に散り散る銀杏の落葉
やはらかく踏み
我妻清作

一葉の写真に残りし中国の少年の目は何をか
語る
吉田久次

今日こそは会えると思ひ出でし市花売る老婆
また見たあらず
小林芳子

小須戸川柳会
題「おしゃれ」

作業衣を脱いで女のハイヒール
結び上げてまんざらでもない妻の髪
ハゲ頭人目を避けてクシを入れ
年老いてお洒落もボケの防止策
おしゃれして見せて売りこむ化粧品
おしゃれつ気と食ひあるうち恋もある
生真面目な夫に妻のおしゃれ過ぎ
おしゃれしてお喋りしたいクラス会
お苦しい言われその気で紅を引き
人がみな華やかすぎる失意の日
ふるさとが近くに覚えて紅を引き
娘のセンス借りて鏡にテして居る
ファッション誌そっくり真似る娘のおしゃれ
しゃれ上手まわりの人に夢与え

藤井春江
吉田みな
岡田良平
吉田源吾
玉村タネ
加藤米二
栗原ひさし
松沢キヨ
阿達キヨノ
小見ケン
長井武雄
渡辺信子
高橋ただし
保科志枝